

代表・一般質問通告一覧表

令和3年3月

【代表質問】2月28日(金)午前9時～

| 質問 順位 | 会派名 (質問制限時間) ※答弁時間含む | 質問者 | 質問項目 |
|----------|----------------------------|------|---|
| 1 | いなべ未来 (70分) | 林 正男 | <p>1.コロナ対策と影響 (1)ワクチン接種について (2)デジタル化の推進について (3)財政への影響について</p> <p>2.市民生活の充実 (1)温暖化対策について (2)獣害対策について (3)河川体積土砂の撤去用地の今後の活用は (4)市道ゾーン30事業の拡大計画は (5)虐待防止のために</p> <p>3.まちづくり (1)SDGs未来都市に向けて (2)三重とこわか大会について (3)「冒険の森」について</p> |
| 2 | 創風会 (60分) | 清水隆弘 | <p>1.with コロナにおける市政～国の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下、三重県の緊急警戒宣言下、市長の施政方針を質す～ (1)【コロナに克つ・ワクチン接種】 (2)【デジタル化の推進】 (3)【冒険体験教育】 (4)【SDGs未来都市】 (5)【新しい絆】</p> <p>2.暮らしの道標 (1)1-3【員弁庁舎の再利用】 (2)1-10【廃棄物の処理委託】</p> <p>3.安心の道標 (1)4-3【市道のゾーン30化】 (2)4-5【河川体積土砂の撤去】</p> |
| 3 | 政和会 (55分) | 新山英洋 | <p>1.学びの道標 3-3【体を動かす楽しさ】冒険の森がもたらす児童・生徒や教職員への影響は</p> <p>2.安心の道標 4-1【ひきこもり支援 瑠璃庵(るりあん)】 (1)ひきこもり支援の現状と課題は (2)瑠璃庵の運営は</p> <p>3.生業の道標 (1)5-1【水田の有効活用】について計画は (2)5-3【獣害に強い作物】について、手段と目標は (3)5-4【農業の働き方改革】について、手段と目標は (4)5-6【グリーンクリエイティブいなべの推進】について、これまでの評価は</p> |

| 質問 順位 | 会派名 (質問制限時間) ※答弁時間含む | 質問者 | 質問項目 |
|----------|----------------------------|------|--|
| 4 | 日本共産党 いなべ市議団 (50分) | 衣笠民子 | <p>1.コロナ感染症 感染拡大防止について コロナ感染症の感染拡大防止【コロナに克つ】 三重県のコロナ感染症の状況は、医療機関や介護施設でクラスターが発生している特徴がある。 また、いなべ市ではそのような状況にはないが、あり得ないという立場でなく、警戒する必要がある。医療、介護、保育施設など密着が避けがたい施設の職員や利用者の定期的なPCR検査体制をとる考えは。</p> <p>2.計画的な施設管理、整備、事業実施について (1)冒険の森について (2)市民温水プールについて (3)宇賀溪キャンプ場について (4)員弁庁舎について (5)藍染について</p> <p>3.すべての人がいきいきと暮らせるいなべ市に (1)福祉医療費助成について (2)障がい者のグループホームについて</p> |

【一般質問】 3月3日（水）、4日（木）午前9時～

| 質問 順位 | 会派名 (質問制限時間) | 質問者 | 質問項目 |
|----------|-----------------|------|--|
| 1 | いなべ未来 (240分) | 岡 英昭 | <p>1.小学校35人少人数学級化と教科担任制導入について (1)市内小学校で向こう5年「35人学級化」の対象となる学校数、学級数は。 (2)わずかに35人学級に及ばない(34～33人程度)学級数は。 (3)上述の学級に対する市の独自対応措置は考えられるか。 (4)来年度の市全体として教職員定数の影響はどうか。 (5)その場合の市の人件費への影響は。 (6)今回の義務教育標準法の改正を契機に35人学級編製の制度によって市内小学校の統合の計画案は浮上しないか。 (7)中学校の少人数学級化への見通しは。 (8)特別支援学級の少人数化の見通しは。 (9)来年度市内特別支援学級の学級数に増減はあるか。その場合、間もなく教職員の人事異動時期であるが、「特別支援学校教諭普通免許状」を所有教員での担任確保は可能か。 (10)特支免許状を持たない教員が特別支援学級を担任する場合の現状対応はどのように行っているのか。 (11)来年度から5年で移行する1学級当たりの上限人数引き下げの教育効果はこれまで示されているところであるが、課題は何か。 (12)今回の措置で教育委員会は教職員の配置の工夫や採用計画を立てやすくなると思われるが、現時点でのその教育施策を伺う。 (13)小学校高学年への教科担任制の本格導入が令和4年度を目途に行われることとなったが、所有する免許状を考慮した小中人事を行うか。 (14)小学校教科担任制の導入は小中一貫教育も含めた人材確保が求められるが、それについてはいなべ市のみならず桑名市、東員町等広範囲の連携が必要になるとと思われる。その対応策や小学校の教科担任制の所見は。</p> <p>2.獣害対策の現状について (1)猟友会の活動期間(委託期間)は。害獣の狩猟期間は。 (2)猟友会の高齢化がいわれて久しいが猟友会の平均年齢(概数)と会員数は。 (3)駆除1頭当たり2万円と仄聞するが、妥当な金額と考えるか。 (4)捕獲の報償金の他、活動補助金などの支払い制(予算化)はあるのか。 (5)猟友会以外に獣害対策に携わる団体の状況は。(委託先、委託金等) (6)捕獲した獣肉の藤原のジビエ生産施設における搬入量、解体処理数、出荷量など生産活動の状況は。 (7)市内での「みえジビエ」と他のジビエ肉の販売状況は。 (8)商品化とならなかった解体肉の処理は。 (9)捕獲した個体で搬入しなかったものや解体の残り部位の処理方法は。 (10)獣害対策の花火による追い払い策の効果が実感できる博搜したものはあるか。 (11)現在行っている獣害対策で充分と考えるか、更なる効果的な方策が今後計画されておればお答えを。 (12)いなべ市の獣害対策に対する所見を。</p> |
| 2 | | 鈴木順子 | <p>1.重層的支援体制整備事業について (1)重層的支援体制整備事業の進捗状況は (2)課題をどのように考えているのか (3)市としてどのように構築していくのか (4)プロジェクトチームの設立が必要では</p> <p>2.SDGsにおける森林整備について (1)現在の森林管理について (2)森林経営管理制度についてはどのように活用していくのか。 (3)地域林政アドバイザーの活用について</p> |

| 質問 順位 | 会派名 (質問制限時 間) | 質問者 | 質問項目 |
|----------|---------------------|-------|---|
| | | | 3.養育費立替制度について (1)養育費立替制度についての当局の見解は (2)いなべ市として導入のお考えは |
| 3 | いなべ未来 (240分) | 原田敬司 | 1.GIGAスクール構想の実現について (1)環境整備・タブレット端末普及の状況は (2)情報モラル教育推進事業について (3)ICT教育における問題点とその解決策について 2.新型コロナウイルス感染症禍における影響について (1)市内の事業者への影響について (2)市民への影響について |
| 4 | | 位田まさ子 | 1.いなべのごみ問題について問う (1)あじさいワリーンセンターについて (2)今後のごみ分別について (3)桑名広域清掃事業組合脱退について 2.コロナ禍の確定申告について (1)当日分の入場整理券の配付枚数は日によって違うのか。配付状況は。 (2)また、配付によって混乱や市民からの苦情は寄せられていないか。 (3)確定申告書の配備について、支所へ配備しないのはなぜか。来年に向け再度検討する考えは。 |
| 5 | 政和会 (60分) | 西井真理子 | 1.いじめの未然防止への取組を (1)学校での取り組みについて (2)教育委員会の取り組みについて |
| 6 | 創風会 (120分) | 篠原史紀 | 1.12月定例会から引き続き、子どもの居場所づくり施策を問う (1)健康こども部所管の子どもの居場所づくりについて (2)教育委員会所管の子供の居場所づくり事業について 2.子育て支援や地域での教育を含む、共助、互助を基礎としたコミュニティづくり (1)国による「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備等」について、第2層協議体の自治会レベルの地域福祉委員会、中学校区レベルの1.5層協議会でも子育て世代が抱える課題解決が議論されていくのか。また、健康こども部所管の地域子育て支援拠点並びに子育て世代包括支援センターとの連携に関して見解は。 (2)地域学校協働活動と地域共生社会の実現に向けた1.5層協議体等の役割は酷似しているように思う。いかに共助、互助をベースにした持続可能な地域社会を早期に且つ合理的に確立する必要があると思うが、各所管の教育委員会、福祉部の見解を問う。 (3)社協だよりやいなべ10などで、福祉委員会や1.5層協議会の紹介はされてきたが、こうした新たな地域コミュニティを構築するには、各自治会、連合自治会のさらなる理解が必須かと思われる。今後の周知方法に関する見解を問う。 |
| 7 | | 片山秀樹 | 1.森林を伐採する太陽光発電事業の課題 (1)1ha未満の面積についての申請まどのように行われているか。 (2)大牟田市、仙台市などで土砂災害が起きているが、当市では対策を考えているか。 (3)隣接する地主、自治会、近隣の住民の反対がある場合でも、市はあくまで民間の経済活動ということで静観するしかないのか。 (4)山を持っていることが地主にとって(二酸化炭素を減らし新鮮な空気を排出するなど)誇りを持つことができ、経済的メリットを生むことができる森林環境を守るための施策を考えていく必要があると思うが、市の見解は。 |

| 質問 順位 | 会派名 (質問制限時間) | 質問者 | 質問項目 |
|----------|--------------------------|------|---|
| | | | 2.農業政策について (1)稲作事業の次世代人材の目標は達成されているか (2)やる気のある農業者(特に若い世代)が、耕作面積を広げたい場合に市はどのような支援を行うか (3)担い手の人材、育成の戦略はどのようなものか (4)畜産や野菜農家の担い手は若い人材が頑張っている。作物も魅力的なものがありしっかり経営されているが、更なる向上のために市として支援できることはなにか (5)GCIとタイアップして取り組んでいることと今後の展開は |
| 8 | 日本共産党 いなべ市議団 (60分) | 岡 恒和 | 1.介護保険事業の現状と課題を問う (1)いなべ市の高齢者が置かれている状況について (2)施設入所サービスの状況について (3)介護事業所における新型コロナ対策について |